

# 和泉町唧筒場



作成 東京都下水道サービスTGS 早乙女信夫 2017.6  
著作権の関係により一部消去しています

1

## 和泉町唧筒場の概要

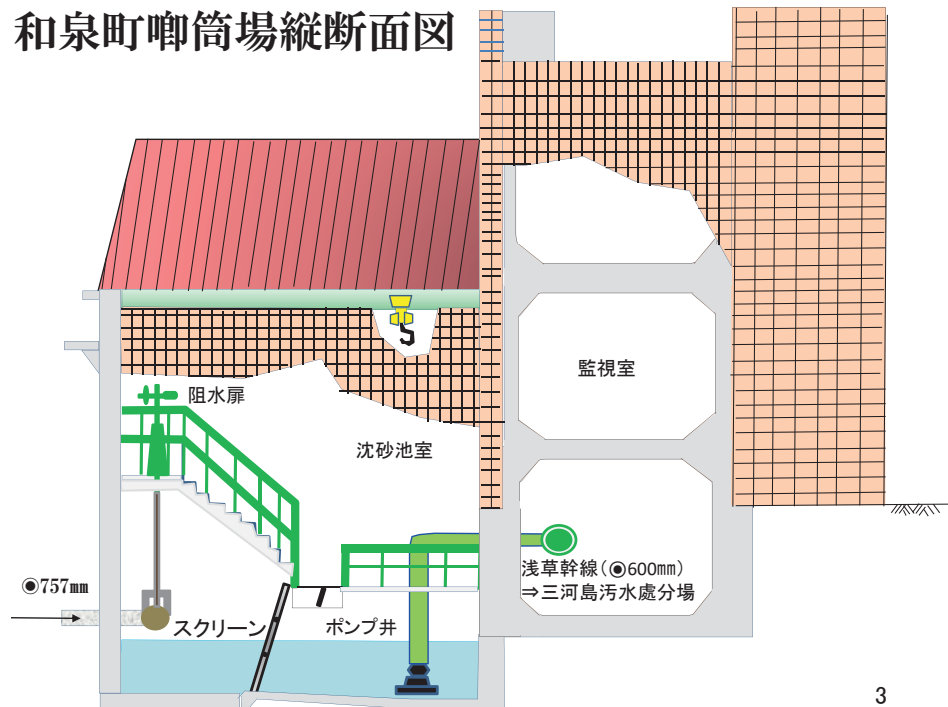
和泉町唧筒場は、我が国最初の下水处理施設である三河島污水處分場とともに建設された中継唧筒場です。台東区上野三丁目、千代田区神田松永町、神田花岡町、神田練堀町、神田相生町、神田佐久間町一丁目、外神田一丁目と外神田三丁目の一部及び神田四、五丁目の污水を吸い揚げて、浅草幹線により三河島污水處分場へ送水していました。

敷地面積 450㎡

下水量 8.28㎡/分

ポンプ設備 口径150mm1・2号 口径300mm3・4号 2

## 和泉町唧筒場縦断面図



3

## 大正11・12年度 第八回東京市下水道事業年報 に掲載された和泉町唧筒場の写真



4

## 和泉町唧筒場の建設経過

- 大正 9年(1920年)7月 和泉町唧筒場工事着手
- 大正10年(1921年)10月 同 設備工事着手
- **大正11年(1922年)3月 三河島污水処分場運転開始**
- 大正11年(1922年)8月15日和泉町唧筒場運転開始
- (大正12年9月1日 関東大震災)
- 昭和48年(1973年) 和泉町ポンプ所污水ポンプ  
ポンプ自動運転設備工事
- 平成29年3月31日(2017年)和泉町ポンプ所稼働停止
- 令和4年6月(2022年) 千代田区へ売却

5

## 関東大震災と和泉町唧筒場 (1)

大正12年9月1日の関東大震災では、神田和泉町周辺は住む人達による消火活動により焼け残りました。地震は9月1日午前11時58分に発生しました。

午後4時には火災が迫り、当初は、神田川の水を汲んだりして消火していましたが、9月2日になり消火活動も限界となりました。

6

## 関東大震災と和泉町唧筒場 (2)

その時、近くの会社に新しく納入するはずのポンプ車があり、これを和泉町唧筒場に運び込み唧筒場の水をホースで放水し、2日の午後6時頃までに完全に消し止めました。実に丸1日以上に及び町内の努力が実り、この町を火災から守りました。

これらの記事は、「目で見える千代田区の歴史」東京都千代田区教育委員会刊などに記載されています。

7

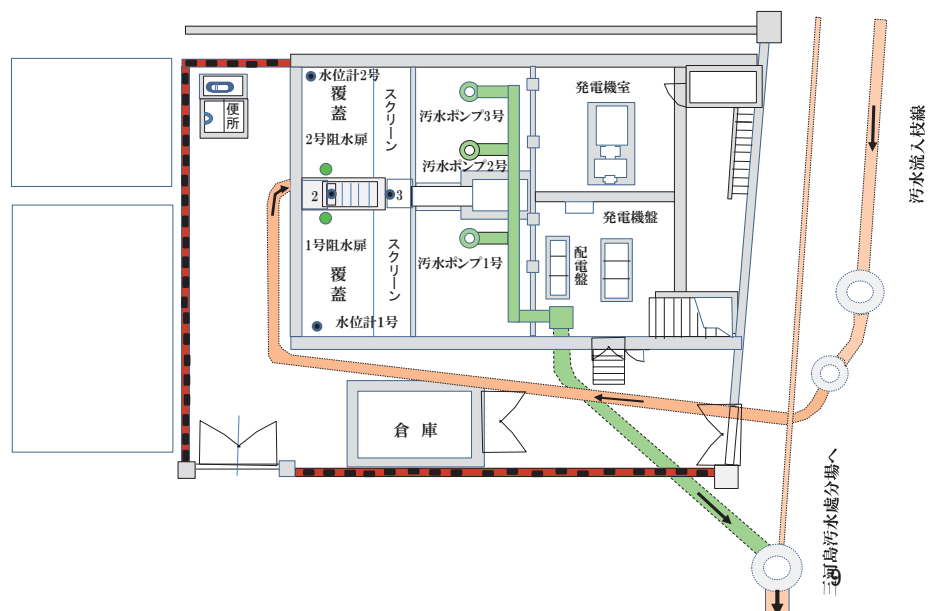
## 関東大震災に伴い焼けた痕跡



8



## 和泉町唧筒場 平面図



1・2号送水管150mm  
3号送水管300mm



## 事務室

腰壁:人造石塗研出し仕上 腰壁上部:漆喰壁  
扉:木製扉



4号送水管口径300mm

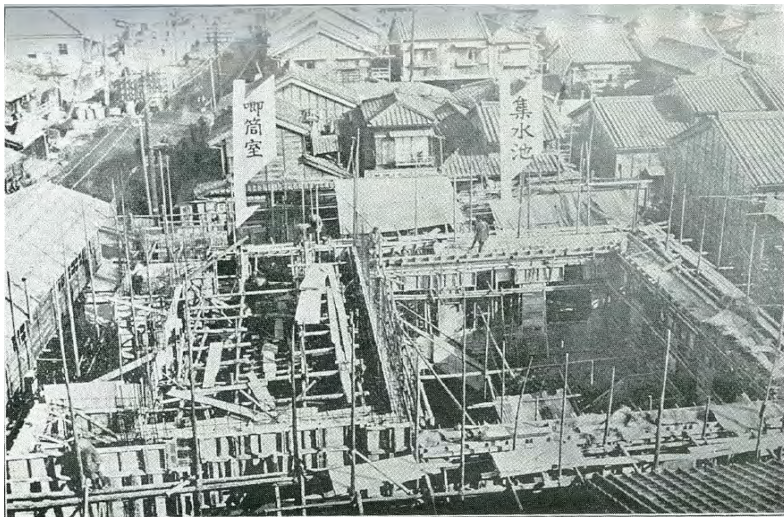




## 鉄骨トラス屋根



大正9・10年度  
第七回東京市下水道事業年報に掲載された  
和泉町唧筒場の建築工事の写真



景光ノ中事工築建場筒唧町泉和道水下区二第

## 変形キングポストトラス



## 文化財としての価値

和泉町唧筒場は、浅草幹線により三河島污水処分場に送水していた中継唧筒場です。

重要文化財旧三河島污水処分場唧筒場施設と一体的に同時期に建設されもので、意匠的にも重要文化財旧三河島污水処分場唧筒場施設と類似する施設です。

唧筒場施設は、東京市第二区の第一期工事として建設されたもので、当時の建物及び地下構造物が旧態を保持し、現在もそのまま残され、土木・建築技術の高い歴史的価値が認められています。